

※休診のお知らせ

9/13 循環器内科

※医師不在のお知らせ

小児科： 川上・・・9/1～5
中嶋・・・9/10～13
肝臓内科： 国吉・・・9/10
循環器内科： 鈴木・・・9/26～30
放射線科： 廣瀬・・・9/20
精神科： 知識・・・9/2, 9/9, 9/30
朝枝・・・9/3, 9/10, 9/17, 9/24
重光・・・9/4, 9/11, 9/18, 9/25



KOKURA産婦人科フォーラムのご案内



このたび、近隣の診療所、病院の先生方、看護スタッフの方々に広く産婦人科診療に関わるup-to-dateな情報を発信する場として、KOKURA産婦人科フォーラムを立ち上げました。肩の凝らない、しかし聞いてみて明日からの診療に役に立つような情報発信を目指しています。まずは、下記までお問い合わせください。



お問い合わせ先：

小倉医療センター 産婦人科部長 川上 浩介 電話: 093-921-8881

ZoomURL <https://zoom.us/j/94717618017?pwd=cgv5F5KFw1oW7fEwNlaFBBKt4vvvs.1>

ミーティング ID: 947 1761 8017 パスコード: 1103

— 医療従事者研修について —

開催日	研修名
9月26日(木) 時間 19:00～	KOKURA産婦人科フォーラム(ハイブリッド開催)
9月26日(木) 時間 19:00～	小倉小児科医会臨床懇話会(Web講習会)

— 健康教室について —

「糖尿病健康教室」「産婦人科教室」の開催予定はございません

国立病院機構 小倉医療センター 〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

【診療科】糖尿病・内分泌代謝内科、血液内科、肝臓内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、外科一般・消化器外科、乳腺外科、小児外科、小児科、産婦人科、皮膚科、眼科、精神科、放射線科、臨床検査科、麻酔科

◆ご紹介・研修に関してのお問い合わせは、地域医療連携室をご利用下さい

(病院代表)

FAX 093-522-5072 TEL 093-921-8881

(地域医療連携室)

FAX 093-921-8892 TEL 093-921-8887(紹介患者専用ダイヤル)





独立行政法人国立病院機構

小倉医療センター外来診療担当表

令和6年9月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科一般（新患） 【内線 264】	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	新患担当は、内科系医師の交代制です。
肝臓内科 【内線 208】	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	國吉 政美	國吉 政美	
血液内科 【内線 208】	武藤 敏孝	高 月 浩	武藤 敏孝	高 月 浩		※血液内科について下記欄外参照ください。
糖尿病・内分泌代謝内科 【内線 264】	的場 ゆか 林 加野 山田 健太郎	今 蘭 直博 堤 田 夏生 阿 部 隼希	的場 ゆか 林 加野 堤 田 夏生	的場 ゆか 林 加野 阿 部 隼希	今 蘭 直博 山田 健太郎 阿 部 隼希	
呼吸器内科 【内線 208】	休 診					
循環器内科 【内線 202】		鈴木 哲	鈴木 哲		◆	新患：連携室へ事前相談(急患不可) ◆他院より派遣医師
消化器内科 【内線 205】	河 邊 顕	村 尾 寛之 林 康 代	河 邊 顕 林 康 代	村 尾 寛之 林 康 代	河 邊 顕 村 尾 寛之	脾胃患は河邊医師が担当。
消化器・一般外科 【内線 205】	鈴木 宏往	田 辺 嘉高 山 田 裕	田 辺 嘉高	堤 宏 介	田 邊 麗子	
乳腺外科 【内線 205】	堤 宏 介	轟 木 秀一 山 田 裕	◇予約のみ	轟 木 秀一	轟 木 秀一	◇印 予約のみ
整形外科	深 川 真吾 長谷川 晃大 安 部 健吾	今 井 稜	深 川 真吾 長谷川 晃大 今 井 稜	長谷川 晃大	深 川 真吾 今 井 稜 安 部 健吾	
小児科（午前） 【内線 209】	◇※牧村 美佳 安 永 由紀恵 米 良 智子 中 嶋 敏紀	△安 成 大輔 安 永 由紀恵 古 賀 大 貴 ☆渡 辺 恭子 中 嶋 敏紀 ☆緒 方 怜奈	◇牧村 美佳 松 永 千 恵 河 原 典子 ◎大 野 拓郎 ●安 永 由紀恵 ◇九大より派遣 （第2・4週）	河 原 典子 中 尾 模 吾 米 良 智子 ☆※緒 方 怜奈 中 尾 泰 介	◎大 野 拓郎 河 原 典子 牧 村 美佳 ◎中 島 康貴 ☆渡 辺 恭子 ☆緒 方 怜奈 ☆安 永 由紀恵	◎循環器外来（予約制） △アレルギー外来（予約制） ☆神経外来（予約制） ◇内分泌外来（予約制） □新生児外来（予約制） ※初診のみ ●予約制 専門外来新患は要電話予約 （9：00-14：30電話受付） 詳しくは病院ホームページ
小児科（午後） 【内線 209】	1か月健診：松永 中 尾 模 吾 中 嶋 敏紀 ◎※古賀 大貴 山 喜 多 悠一	※△安 成 大輔 中 嶋 敏紀 榎 崎 健太郎 ☆渡 辺 恭子 ☆緒 方 怜奈	◇牧村 美佳 倉 田 浩 昭 湯 浅 千 春 ◎大 野 拓郎 ☆九大より派遣 （第3週）	1か月健診：福田 田 中 幸 一 川 上 勲 ◎古賀 大貴 ☆緒 方 怜奈	△米 良 智子 倉 田 浩 昭 湯 浅 千 春 ◎中 島 康貴 ☆渡 辺 恭子 ☆緒 方 怜奈 ☆安 永 由紀恵	
小児外科 【内線 209】	〔手術日〕 （急患のみ可）	生 野 猛 ＊生 野 久美子 中 村 晶 俊 橋 本 佳子	〔手術日〕 （急患のみ可）	◎生 野 猛 生 野 久美子 ＊橋 本 佳子	＊生 野 猛 生 野 久美子 中 村 晶 俊 橋 本 佳子	◎小児泌尿器外来 ＊印 新患担当 急患は随時対応
産科・婦人科 【内線 204】	＊川 上 浩介 河 村 京子 森 岡 将 来 北 川 麻里江 石 橋 弘 樹 藤 川 梨 恵 宮 原 英 之	吉 里 俊 幸 ＊川 越 秀洋 牟 田 満 近 藤 恵 美 北 川 麻里江 光 山 丈 彦 〔手術日〕	＊川 上 浩介 徳 田 諭 道 河 村 京子 石 橋 弘 樹 牛 島 崇 祐 清 水 佳 祐 田 邊 優 介	＊川 越 秀洋 牟 田 満 熊 谷 晴 介 近 藤 恵 美 藤 川 梨 恵 牛 島 崇 祐 清 水 佳 祐	＊川 上 浩介 徳 田 諭 道 北 川 麻里江 宮 原 英 之 池 田 周 平 田 邊 美 紀 〔手術日〕	＊印 新患担当 新患は紹介患者様のみ
泌尿器科 【内線 213】	◆	〔休診〕	〔休診〕	◆	◆	◆他院より派遣医師
皮膚科 【内線 8080】	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	
眼科 【内線 212】	能 美 典 正 村 上 裕 一 浅 原 裕 樹	浅 原 裕 樹 村 上 裕 一 高 木（第1週） 〔手術日〕	宮 城 美智子 村 上 裕 一 浅 原 裕 樹	能 美 典 正 熊野・浅原（奇数週） 下川・村上（偶数週） 〔手術日〕	能 美 典 正 村 上 裕 一 浅 原 裕 樹	新患：連携室へ事前予約 急患は事前相談を 火・木は10：00で受付終了
精神科	今 村 眞 帆 今 村 汐 里 朝 枝 翼 ＊磯 村 周 一	今 村 眞 帆 知 識 裕 喜 ＊榎 藤 知子	磯 村 周 一 今 村 眞 帆 榎 藤 知子 ＊今 村 汐 里	磯 村 周 一 今 村 眞 帆 榎 藤 知子 今 村 汐 里	磯 村 周 一 今 村 眞 帆 榎 藤 知子 重 光 紗 文 ＊知 識 裕 喜	＊印 新患担当 新患は要電話予約 （9:00～14:30電話受付）
放射線科 【内線 231】	野 見 山 弘行	野 見 山 弘行 脇 山 浩明（午後）	野 見 山 弘行	野 見 山 弘行	野 見 山 弘行 高 木 正 統（午前）	
耳鼻咽喉科 【内線 8320】	〔休診〕	◆	〔休診〕	〔休診〕	◆	◆九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線 379】	村 尾 寛之 林 康 代	河 邊 顕 國 吉 政 美	村 尾 寛之	河 邊 顕	林 康 代	

注）：受付時間：午前8：30～11：00（急患については、この限りではありません）

注）：不在の場合は担当医が変更になることがあります。

注）：詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

注）：血液内科診療につきまして、診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります。

◆国立病院機構小倉医療センター◆

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

TEL093-921-8881/FAX093-921-8892（地域医療連携室）

2020年以降、妊産婦死亡の自殺の割合が20%を超えていましたが、2022年はさらに増加し、産科危機的出血を上回り、自殺が妊産婦死亡の最多原因となりました。自殺に至った症例は精神疾患例だけではなく、精神疾患の既往のない妊産婦も一定数存在していることがわかっています。私たちは、2018年にソーシャルハイリスク妊産婦を対象に地域医療連携室が中心となって、産婦人科、小児科、精神科、助産師、看護師、医療ソーシャルワーカーとともにハイリスク周産期チームを結成しました。幅広くハイリスク妊産婦を抽出し、定期的に各自治体の子育て世代包括支援センター、症例によっては訪問看護ステーションなどの福祉関係機関、子ども家庭相談コーナーと連携を行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供できるよう活動しています。これまでに約170症例の妊産婦に携わり、赤ちゃんの多くは各自治体の見守りや社会資源などの導入によって自宅に退院できています。望まない妊娠や精神疾患などで自宅退院が困難な症例に関しては、乳児院や特別養子縁組などの制度を利用し、母児ともに安心できる退院先の選定を行っています。一人でも多くの妊産婦に手を差し伸べ、命をつなぎ、安心して子どもを産み育てられる環境を実現させたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



基本理念

この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します

いつも患者さんをご紹介いただき、誠にありがとうございます。

皮膚科専門医1名を含む2名で月曜から金曜午前で外来診療を行っています。午後は、入院患者さんの処置や手術を行っています。

近年、皮膚科においても、生物学的製剤や分子標的薬が登場し、瞬く間にアトピー性皮膚炎や乾癬の治療が進歩し、円形脱毛症、結節性痒疹と適応疾患が増えてきています。

乾癬においてはpsoriatic disease(乾癬患者さんは、肥満、高脂血症、糖尿病を合併しやすく虚血性心疾患発症リスクが高い)という概念が提唱され、皮膚だけではなく全身の炎症性疾患として認識されるようになってきました。生物学的製剤により皮膚症状だけでなく、全身の炎症を改善させ、将来的な心血管イベントの発症リスクを低減させるために、早期からの治療介入を心がけています。

乾癬やアトピー性皮膚炎などの手こずる疾患だけでなく、患者さんからの「ちょっとここが赤いんだけど、何かな?」「これって水虫かな?」といった相談等、ちょっとした皮膚での困りごとにも歓迎します。お気軽にご紹介ください。



基本理念

この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します